



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和5年度1月号

新たな年を迎えて

校長 浅野 謙一

新たな年を迎えました。保護者の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は元旦からとても悲しい出来事がありました。能登半島地震です。元旦の午後4時過ぎに携帯電話やスマートフォンの警報がけたたましく鳴り響き、愛知県でも震度4の揺れを観測しました。日がたつにつれて被害の様子が分かってきました。多くの方が亡くなり、まだ安否がわからない人もいます。命を落とした人だけでなく、家が倒壊し、避難所で厳しい生活をしている人もたくさんいます。被災地に暮らす小中学生も不安な毎日を送っており、新学期も始まっていない状況です。

尾張旭市は、輪島市と大規模災害時における相互応援に関する協定を結んでおり、消防署や市役所の職員の方々が災害復旧等の応援のため輪島市へ行っています。私たちに今できることは多くありませんが、被災した人たちのことを思い、少しでも何かできることがないか考えてみましょう。

さて、2024年、今年の干支は何でしょう。干支を聞かれて十二支の「辰年」と答える人も多くいますが、本来の干支でいうと「甲辰（きのえ・たつ）」が正解です。この干支には、特別な意味が込められています。「甲」は十干の最初に出てくるもので、甲冑（かっちゅう）の「甲」の文字から鎧や兜を連想させ、種子が厚い皮に守られて芽を出さない状態や、物事に対して耐え忍ぶ状態を表す文字です。また、生命や物事の始まり、成長も意味します。「辰」は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。辰は竜（龍）のことでもあり、十二支の中で唯一の空想上の生きものです。東洋で権力・隆盛の象徴として親しまれていた龍は、身近な存在であったことから干支に選ばれたと言われています。

甲と辰が合わさる2024年は、辰年のキーワードである「変革（転機）」や「激動」が示すように、時代が動く年となるかもしれません。大きな出来事が起こると予想され、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年とも言えるかもしれません。

始業式の講話で、3年生に向けてアップルの創始者であるスティーブ・ジョブズの言葉「the dots will somehow connect in your future（点と点は何かしらの形で将来につながっている）」を紹介しました。この言葉は、志望校に合格することが最終のゴールではないということの意味しています。人生はその後もずっと続き、合格不合格に関係なく、今やっていることが、いつか生きることもある。だから、今やっていることに自信を持ってほしいと話しました。3年生だけでなく、1、2年生もこの言葉を胸に、将来に向けての目標を立て、その目標を達成するための努力を続けてほしいと思います。

3学期が始まりました

朝晩の冷え込みが厳しい時期ですが、冬休みも終わり、学校には活気が戻ってきました。授業では生徒たちが前向きに取り組む姿が見られます。3学期は、締めくくりと次の学年への準備をするための期間でもあります。今年度を振り返り、今後につなげるためのよい準備をしていきましょう。



5分で避難、全員無事「奇跡じゃなく訓練」津波襲来の高齢地区・珠洲市

能登半島先端部に位置する石川県珠洲市三崎町北部の寺家下出地区は、約40世帯90人ほどが暮らす町です。地震から間もなく津波に襲われ、多くの住宅が倒壊しました。しかし、大半を高齢者が占める住民は、近所同士で声を掛け合い、足の悪い人を背負うなど協力し、5分以内に高台に避難して全員無事だったそうです。地区では東日本大震災をきっかけに毎年避難訓練を行っており、住民は「普段訓練をしていなかったら、みんな死んでいたかもしれない。奇跡じゃなくて、訓練が生きた」と振り返っています。(Yahoo Japan ニュースより)

地域防災講演会・防災体験 にご参加ください (再々募集)

自然災害が多発する現在において、中学生が地域防災への理解を深め、いざというときに地域を守る大きな力となれるように企画されたものです。地域ぐるみで防災意識を高めるための良い機会とするのもねらいとしていますので、ぜひご参加ください。

- 1 日時 令和6年2月10日(土) 午前9:00~11:00
- 2 場所 旭中学校体育館
- 3 内容 講演会「災害に備えよう」 防災体験(避難所運営等)

※参加される場合は、申込用紙の提出をお願いします(1月22日(月)締め切り)

-----キリトリせん-----

地域防災講演会・防災体験 参加申込票

学年	クラス	番号	氏名

※複数名参加される場合も、この欄にお名前をご記入ください

